

【2021年度活動報告】

はじめに

連合壮年会の活動計画の基本に変更はありませんでした。これまでとの違いは新型コロナウイルス感染拡大(コロナ危機)の中で、如何に教会が世に仕えるかということでした。壮年会は神学校と神学生の支援を中心的な課題として、それぞれの所属教会の形成に力強く参与することです。主の栄光を表すための「人」と「教会」を壮年会という組織を通して考え、行動して参りました。

共に学ぶ

「バプテスト」を深く理解していこうと講習会の開催が期待されましたが、感染状況がそれを許しませんでした。

次世代の献身者のために

壮年会の大きな活動の柱に神学生支援(奨学金制度運用)があります。全国壮年会連合が連盟から委託されている奨学金制度を東北地方連合としても協力して参りました。神学校週間のアピールや、奨学金委員会、神学校献金推進委員会と連携し、それぞれの壮年が自分の教会で次世代のために取り組みました。鮫教会の遠藤守さんの東京バプテスト神学校での学びを支え祈って参りました。

全国壮年大会への参加

全国壮年大会が8月21日福岡地方連合のお世話役でオンラインで開催されました。練られた大会プログラムで、オンライン参加も可能でしたが、東北連合からの参加は低調でした。

コロナ危機に立ち向かう

新型コロナ感染症の猛威に伝道、教会運営が困難な状況が続きました。感染防止のために、「自由礼拝」や「礼拝は各家庭で」という形で礼拝を守られている教会もありました。福音伝道の歩みを止めないために情報を共有し、会員を相互に励ましてそれぞれの教会を支えることが期待されました。そのような中で開催されたのは、東北連合壮年会井戸端会議(2021年9月23日・木・19:00-20:00)でした。なかなか会えない中で、不慣れなパソコン越しの会議に一生懸命取り組みました。甲谷裕子東北連合女性会長(八戸教会)にもゲストで参加してもらいました。

【2022年度活動計画】

はじめに

年に1回の壮年会の総会もままならない昨今の新型コロナウイルス危機を前に、私たちはどのように壮年会活動を続けていけばいいのでしょうか。また、人と教会に仕える信徒の一人として、東北連合の皆様とどのように連帯していけばいいのでしょうか。現状を踏まえ、困難な状況の中で、ひたすら祈り、教会を笑顔で支え合いたいと願っています。

共に学ぶ

学びの達成感を覚える機会がなかなか持てませんが、今年度も自分たちの共通理解としての「バプテストを知る」をいっしょに学びたいと思います。できれば、東北の南北2カ所で集会を持ちたいと思いますが、オンライン学習会と形を変えてでも開催にこぎつきたいと思います。

次世代の献身者のために

献身の意義を十分理解し、神学校のための献金や奨学金制度維持のための献金を推奨します。特に文書やオンラインを利用したアピールを支援します。引き続き鮫教会の遠藤守さん(東京バプテスト神学校神学生)を支えます。

全国壮年大会への参加

全国壮年大会は札幌で行われます。すでにその準備が進んでいますが、基調講演を大西晴樹氏(東北学院大学院長・仙台教会員)がされますので、大会成功を祈りながら、大会にリアルで参加したいと思えます。実際の大会がどうなるのか、予想出来ない部分もありますが、身近な北海道地方連合に最大限協力してまいりましょう。予算を増額し、参加者を募り支援します。(※その後、全国壮年大会はオンライン開催となった)

コロナ危機に立ち向かう

教会を孤立させない取り組みを勇気を持って行いましょう。相互礼拝に象徴されるように、直接、間接の訪問を通して、連合内の連帯を伝え、確信しましょう。



日本バプテスト連盟全国壮年会連合
〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務: 月、水、金 10:00~16:00 ☎fax: 048-886-7533 http://www.sonen.net sonen@bapren.jp

全国壮年会連合 NEWS



日本バプテスト連盟
全国壮年会連合
発行人: 山田誠一
編集人: 三宅日朗
Topics Password ▶ sorengo

神学校献金(神学生奨学金献金) 振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

第57回全国壮年大会の開催に向けて 北海道バプテスト連合壮年会会長 堂前剛志(札幌)



主のみ名を心から賛美します。

いよいよ全国壮年大会の開催まで二カ月余りとなりました。今年こそ全国の壮年の皆さまと顔と顔を会わせての開催を目指してきましたが、残念ながら今年の大会もリモートを用いての大会となります。

い状況にあることと思います。様々な制約の中での二年間でしたがこのよう状況であるからこそ出来たこと、出会わされた人も多くおられることと思います。この大会を通して「バプテストとは」「教会とは」「誰と共に歩むのか」など考える機会となればと思います。

今回の大会は『ともに祈り、ともに歩む一宣教の視野の拡がり』をテーマとして掲げています。講師には東北学院院長の大西晴樹先生と西南学院大学神学部のヒラルド・ロドリグス先生に講演をお願いしています。事前に収録して皆さんに視聴していただきご質問、ご意見をいただければと思います。そのご質問を踏まえて講師のお二人の先生に加え西南学院大学神学部長の濱野道雄先生に加わっていただきパネルディスカッションする場も準備しています。コロナ禍でどの教会も一堂に集っての礼拝を捧げること、声を出して祈り・賛美することが出来なく、また財政的にも厳し

実行委員会は毎週のようにリモートにて打ち合わせを行ってきました。会の初めには皆で讃美歌を歌い声を出すことにより議論が活発になるよう工夫してきました。おかげで議論白熱の場面も見られました。大会でも開会礼拝と派遣礼拝に讃美歌を三曲準備しています。どの讃美歌も元気の出るものですので久しぶりにマイクに向かって大きな声で讃美してください。

なお大会についての詳しい情報・最新の情報は、随時「北海道バプテスト連合」のホームページ <https://hokkaidobap.jimdo.com/> に掲載しますので参考にしてください。

公告 2022年度全国壮年会連合定期総会に関わる件(修正版)
全国壮年大会が非対面で実施することになったため、文書による総会とします。

- 総会日時: 2022年8月26日(金) 10:00~12:00 ●開催場所: 日本バプテスト連盟事務局会議室(南浦和)
- 議案: 下の欄に示しています。
- 代議員登録(規則細則第4条、第7条による)
各教会・伝道所は3名まで代議員を登録することができます。壮年大会への登録と同時に、グーグルフォーム等を利用して登録ください。●登録締切日: 7月20日(水)
- 議案の提案(規則細則第9条による) 各教会・伝道所の壮年会等は議案を提出出来ます。
提出締切日: 7月26日(火)、役員会に提出してください。

2022年度定期総会議案

1	2022年度総会議長選任の件(東京地方連合から)	3	2023年度神学校献金(神学生奨学金献金)目標額設定の件
2	2021年度全国壮年会連合活動報告・決算報告・監査報告に関する件	4	2022-2023年度全国壮年会連合活動計画案の件
	1)2021年度全国壮年会連合活動報告案 資料:2021年度神学校献金・会費実績一覧	5	2022年度全国壮年会連合一般会計修正予算案及び2023年度全国壮年会連合一般会計予算案の件
	2)2021年度全国壮年会連合一般会計決算報告案	6	2022-2023年度全国壮年会連合奨学金委員会活動計画の件
	3)2021年度全国壮年会連合奨学金委員会活動報告案	7	2022年度全国壮年会連合奨学金会計修正予算案及び2023年度全国壮年会連合奨学金会計予算案の件
	4)2021年度日本バプテスト連盟神学生奨学金会計収支報告 資料:日本バプテスト連盟神学生奨学金会計決算報告	8	第59回(2024年度)全国壮年大会担当地方連合の件(西九州地方連合)
	5)2021年度監査報告	9	第58回(2023年度)総会議長の件(西九州地方連合から)

事務局からのお知らせ: 誤記入により2021年度神学校献金・会費一覧についてお詫びして訂正します。
神学校献金 神戸教会(正:154,000)(誤:79,000)、長住教会(正:250,000)(誤:325,000)
壮年会会費 瑞穂教会(正:8,000)(誤:12,000)、福井教会(正:4,000)(誤:0)

神学校入学への動機と体験的勧め

九州バプテスト神学校 専攻生第2学年 諸隈秀臣
(推薦教会：久留米荒木教会)



栄光在主

信仰の契機は、幼児期教会で喩え話に興味を持ったこと、牧師先生の眼と言葉の優しくも鋭かったこと、懐かしい！その言葉に神の御心に引き付けて離さないものが確かに今も続いています。キリストとの出会いでしょうか？

今も主イエスキリストと私の魂と繋がりの中を生きています。

教会とは何か？通い続ける中で、心魂に沁みついたものが、教会教育です。

真理探究、神学探究が、私個人の人生としては、とても遅くなり残念です。高齢となり神学校へ進む志向は、神さまからの啓示と受け止めました。俗な探求心かもしれません。

人生の体験史では、プラスとマイナスが有り、社会体験に学び考え現実化する機会となりましたが、社会正義の実現は、一見義に見え、現実の中に理想を実現しようとした所に、神人の位相の差が有りま

した。主は、信仰と政治との距離を示唆されて在ります。

神さまの御心が見えなかったのです。人間の思考が義で自由であると思いをしました。そういう権限を、主は私たちに与えて下さっていないと思います。現実と葛藤確執をしながら、神と出会いつつ聖化されてゆく希求のようです。そこには、真の自己と自己対象キリストと呻吟を伴った、真剣な対話を覚悟します。

主イエス・キリストが導かれる所は、身近な生活の中の架橋と葛藤の中で主を仰ぐ聖化・霊化の中に在って、新しい創造の中に繋がることと思いません。

宣教に呻吟し、主のメッセージが伝わるものか？大きな壁に感じ、学びの最大の動機でありました。今もそうです。

今後の抱負は、心身医学・精神医学の臨床実践と、信仰と臨床と宗教的教会活動を続けながら、相互の断絶・解離を埋めていくことが願望です。

もろくま

代表者会議報告 (5/28)

事務局長 三室 日朗

この会議は、全国13地方連合壮年会長と奨学金委員、壮年会連合役員が一堂に会し、定期総会に役員会から提案する議案について審議をする場ですが、今年もオンラインでの会議となりました。初めに各地方連合から前年度の報告と今年度の計画について発表し合い、頂いている恵みと課題を分かち合ったうえで、議案の審議に入りました。前年度の報告関係議案および次年度の神学校献金目標額の議案が承認され、その他の議案についても内容に問題がないことが確認されました。

午後は加藤誠連盟理事長に陪席頂いて、「これからの伝道者養成の検討」の中間報告を聞き、意見交換の時を持ちました。また役員会で作成した「奨学金制度の財務の健全性確認」と「剰余金の試算結果」について前監査の富士栄さんから説明を聞いて、奨学金制度の財務状況についての理解を深めました。連盟理事会が希望する「神学校献金」を神学生への奨学金以外の用途に拡大するためにも、神学校献金の目標額達成に向けた活動が必要であると実感しました。コロナ感染の早期の収束が望まれます。

神学校献金推進委員会議 (6/4) 報告

副会長 豊永 義典

全国8地区からの神学校献金推進委員、奨学金委員、役員がZoomによる会議を行なった。今回は、昨年度の会議で提案のあった、日程を神学校週間の前にし、各地方連合の取り組み状況を共有しながら、今年の週間に生かす趣旨で行なった。

これまで壮年会連合のホームページで提供してきた「神学校献金グッズ」の利用状況についてアンケートを行ない、その回答・意見の中から、より良い情報提供につなげるため意見を出し合った。この会議は年度後半にも開催し、今年度の週間のフォローを行なって、次年度に生かす。会議の後半では、「これからの伝道者養成の検討」に関する中間報告を、理事会と壮年会連合の資料で説明し、現状とこれからの予定について理解を深めた。最後に、今年の北海道担当の壮年会の内容について、北海道で実行委員として準備を進めているメンバーから、概要が説明された。大会の中では、今年も神学校献金推進委員が献金推進のためのアピールを行なう。



日本バプテスト連盟全国壮年会連合
〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務：月、水、金 10:00～16:00 ☎fax:048-886-7533 http://www.sonen.net sonen@bapren.jp

5月28日に行われた「地方連合壮年会等代表者会議」に寄せられた報告・計画資料のうち、東京と東北地方連合の活動を紹介します。

東京地方壮年連合

会長 坂口昌彦 (目白が丘)

2021年度活動報告

主 題 (これまでの継続) 「壮年の役割ーバプテストの信徒として」

主題聖句 (これまでの継続) 「キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、論し合い、詩編と賛歌と霊的な歌により、感謝して心から神をほめたたえなさい。」コロサイ3:16

・2021年度も新型コロナウイルス感染の蔓延が収束せず、むしろ第5波パンデミックと拡大の傾向こそ見られた。その中で東京オリンピックが開催されるなど世の中は動いていた。しかし、東京地方壮年連合の活動も出来るだけ感染を避けるため極力3密を避けた活動を余儀なくされた。よって、その殆どがZoomによるオンライン会議や研修となった。その中で、一つの大きな動きは、来年2023年度の第58回全国壮年大会が東京で開催が予定されており、その実行委員会の組織に向かって進みだした。役員奉仕者も与えられ2020年度に比べて若干強化されてはいるが、まだまだ、慢性的不足状態にあり、地区ブロック委員や神学校献金推進委員を各教会にお願いしている状態にある。現状では、役員の実行委員会委員の兼任を避けられず、多くの奉仕者が与えられて、東京大会が主によって全国の壮年に喜ばれる大会とならんことを祈る次第である。

活 動

- ・役員会の開催 隔月定期開催と臨時も含めて、オンラインにて8回開催。
- ・定期総会の開催 (11月23日) 書面決議 54教会・伝道所中 参加教会・伝道所 23 委任状6 合計 29
- ・研修会の開催
 - 2021年11月23日 (オンライン開催) 講 師 寺園 喜基先生 (元西南学院院長) 参加者 約64名
講演題名 「私たちに必要な現代神学 バルト神学の魅力」
 - 2022年 2月19日 (オンライン開催) 講 師 篠原健治牧師 (福岡国際教会) 参加者 約52名
講演題名 「死について考える力講座」
- ・東京地方壮年連合通信の発行 年4回 (Vol.89～Vol.92) 発行した。Vol.90からA4判カラーで作成。

2022-23年度活動方針と活動計画 (主題および主題聖句は2021年度と同じ) (案)

活動方針

神学校献金の推進を踏まえて、「伝道者養成」についての幅広い取り組みの中で、「伝道者・献身者の掘り起こし」のための取り組みと、「教会形成を担う壮年」の働きを推進するために、コロナ禍にあつて、東京地方壮年連合の働きの目的とその意義や組織の再検討を行い、機関紙としての「連合通信」やHP (東京連合) やメール等による情報発信や協力伝道と壮年の学びと交流の推進を行う。

活動計画

- 1) 役員会 隔月第3土曜日の10～12時半 (全国壮年大会実行委員会を合わせて開催)
- 2) 東京地方壮年連合の活動の再検討
東京地方壮年連合の働きの目的とその意義や組織の再検討を行い、壮年連合総会に中間報告または、提案をしていく。(壮年による壮年の伝道等を推進できるように)
全国壮年会連合との関わり
・全国代表者会議 ・全国壮年大会 ・連合役員会、奨学金委員会、連合役員/奨学金委員合同会
- 4) 東京地方壮年連合総会 2022年11月23日 (東京連合の集いの日に合わせて) 予定
- 5) 研修会 テーマ「教会形成を担う壮年」 ・7月、2月の2回の研修会の開催予定
・東京バプテスト神学校や九州バプテスト神学校でのオンラインによる学びの推進
- 6) 伝道隊の派遣の旗振り (特に経常会計が年間400万円以下の教会に対しての具体的協力)
- 7) 連合通信発行 年4回の発行 (機関紙として位置づける)
- 8) 2023年度第58回全国壮年大会 (東京) 実行委員会
毎月第3土曜日10:00～12:30 (役員会を開催しない月は集中的に大会準備)

以上



日本バプテスト連盟全国壮年会連合
〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務：月、水、金 10:00～16:00 ☎fax:048-886-7533 http://www.sonen.net sonen@bapren.jp